

は じ め に

広島大学大学院社会科学部附属地域経済システム研究センターは、地域経済研究推進協議会、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロックおよび中国地域シンクタンク協議会と共同で、年1回、地域経済研究集会を開催してまいりました。

附属センターの前身である経済学部附属地域経済研究センターは、1989年に設置されました。おかげをもちまして附属センターは2008年に開設20周年を迎えます。地域経済研究集会も2008年に第20回になるはずですが、しかし、1年に2回開催した年があるため、今回は第20回になります。附属センターの設置年数より1年多いのですが、いずれにしても記念すべき研究集会にあたることはまちがいありません。

その記念の研究集会に東京大学の大西隆教授をお招きしました。国土審議会委員でもある大西先生に、「国土形成計画と広域地方計画」という題目で基調講演をしていただきました。そのあとで大西先生をはじめ、岡山大学の中村良平教授、島根大学の作野広和准教授、NPOの河部まゆみ氏による材料提供と討論会を開催いたしました。議論が非常に活発であったことは、この報告書を読んでいただければすぐに納得していただきたいと思います。

また、第2日目には中国・四国のシンクタンク関係者による6件の研究報告がありました。この報告書の後半には、当日の報告と討論をうけて加筆・修正された論文・レポートを掲載しています。

大西先生によると、現在進められている広域地方計画は「主なき計画」の様相を呈しているということです。地方分権の進展に対応して、これを地域で主体的にどのようにとらえ直すかが問われていると思います。今回の地域経済研究集会がそういう機運づくりのきっかけになれば幸いです。

地域経済研究集会の開催ならびに報告書の印刷・刊行につきましては、地域経済研究推進協議会（会長：堀内日出夫中国経済連合会専務理事）に多大なご支援・ご協力をいただいております。あらためて心から感謝申しあげるしだいです。

2008年6月

広島大学地域経済システム研究センター

センター長 伊 藤 敏 安

目 次

はじめに

基調講演

国土形成計画と広域地方計画

大西 隆	3
------------	---

討論会・意見交換

地域の再構築

大西 隆、河部まゆみ、中村 良平、作野 広和	15
------------------------------	----

報告・討論

四国地域におけるロケ地観光について

河野 洋	34
------------	----

広島湾域の特性を生かした体験型修学旅行誘致調査結果

徳永 成男	44
-------------	----

世界と日本の天然ガス需給の現状

石賀 敬	56
------------	----

産地力の持続メカニズムの研究 ― 岡山ジーンズ産地を事例として ―

山本 智之	66
-------------	----

都道府県財政の格差の計測について

滝本 恭司	89
-------------	----

プログラム	95
-------------	----

主催団体一覧	97
--------------	----



開会にあたって

地域経済研究推進協議会
幹事 柘植真賢
(中国経済連合会常務理事)

地域経済研究推進協議会会長の堀内日出夫（中国経済連合会専務理事）に代わって、開会のごあいさつを申し上げます。

皆さま方におかれましては、平素より地域経済研究推進協議会につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本日の記念講演・討論会につきましては、ご多用のなか、東京大学の大西隆先生をはじめとする講師・討論者の方々にお越しいただき、心から感謝申し上げます。

今回の第20回研究集会のテーマは「地域の再構築」というものです。皆さまご承知のとおり、中国地方では人口が減少し、少子・高齢化が進行しております。また、中小都市が点在し、その周囲に中山間地域が広がっています。こうした状況の中で、中小都市では中心市街地の空洞化が問題となっており、中山間地域においては限界集落の問題が深刻化しています。中国地方全体につきましても、保健・医療・福祉といった社会的プライマリーサービスの確保・維持が課題になっています。中国地方各地において多くの問題が顕在化するなか、「地域の再構築」というのは喫緊の課題ともいえます。

中国経済連合会におきましては、中国地方のシンクタンクの協力のもとで「中国地方新生ビジョン」（2006年10月）を作成いたしました。また、「中国圏広域地方計画」の策定に向けた中国圏プレ広域地方計画協議会にも参加しております。本日の研究集会で皆さま方のご意見・ご提言を参考にさせていただいて、中国地方の自立的・持続的発展に向けた取り組みをさらに充実させていきたいと考えております。

最後になりましたが、今回の研究集会の開催・運営にあたってご尽力いただきました広島大学地域経済システム研究センターをはじめ、関係機関・関係者の方々に、心よりお礼申し上げます。この研究集会がさらに実りあるものになりますことを祈念いたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。



開会ごあいさつ

広島大学大学院社会科学研究科
研究科長 川 崎 信 文

12月末を控えて、しだいにあわただしくなるなか、本日の研究集会のために多数ご参加いただき、ありがとうございます。また、東京大の大西隆先生をはじめ、講師・討論者の方々には、広島までお越しいただき、心からお礼申し上げます。

さて、本日は第20回目の研究集会です。附属センターは開設19年目ですが、途中で2回開催した年がございますので、1回分多くなっています。いずれにしても節目となる研究集会にあたります。

研究集会が今日まで続けられてきましたのも、本日お集まりの関係機関の方々のご支援・ご協力のおかげです。あらためて感謝申し上げます。現在の附属センターにつきましては、2008年度に当初の設置期限である10年目を迎えます。次の10年をどのようにするかは内部で検討中ではございますが、引き続き関係の方々のお世話になると思いますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、本日の主催団体の一つである附属センターが所属しております広島大学大学院社会科学研究科を代表しまして、開会のごあいさつとさせていただきます。